



新道の記念碑2基

町内の道路建設に関する記念碑を取り上げ、町の礎を築いた先人の偉業を紹介します。
「新道」の記念碑
津久根の石清水観音近くの通称「新道」沿いに、2基の記念碑が建立されています。それぞれの碑文には先覚たちの熱き思いがこめられています。

志賀謀リテ敷地ヲ買収シ土地寄附ノ手續ヲ了ス而シテ該工事ハ地元村ノ請負フ所ト爲リ大正十五年十月工ヲ起シ昭和元年十二月工ヲ竣ヘ過去ノ不便ヲ一掃スルコトヲ得タリ仍テ記念トシテ茲ニ本碑ヲ建ツト云爾 埼玉縣土木課長正六位勲六等中村孫一書 石工 大野真市郎

津久根の(有)佐藤酒造2代目で、町議会議長も務めた佐藤

越生浪漫

No.153

道のいしぶみ①

縣道改修記念碑

表に題字と碑文、裏には当時の梅園村長・新井清次郎が記した寄付者や寄付金額、発起者名などが刻まれています。梅園村を構成する7つの大字から多くの協力者が出ており、新道の建設が梅園村民の望みの事業であったことが伺えます。(以下碑文)「府縣道秩父越生線 梅園村大字津久根地内字南中堀六百四十番地先ヨリ字清水八百八番地先ヲ經 越生町大字黒岩三百九番地先二戸ル新設敷地ハ延長二百八十間 幅員約三間半 此面積九百八十坪ナリ 舊道ハ曲折急ニシテ危險ヲ感スルコト久シ 大正十四年十二月有志賀謀リテ敷地ヲ買収シ土地寄附ノ手續ヲ了ス而シテ該工事ハ地元村ノ請負フ所ト爲リ大正十五年十月工ヲ起シ昭和元年十二月工ヲ竣ヘ過去ノ不便ヲ一掃スルコトヲ得タリ仍テ記念トシテ茲ニ本碑ヲ建ツト云爾 埼玉縣土木課長正六位勲六等中村孫一書 石工 大野真市郎



左：舗装道路完成記念碑、右：縣道改修記念碑



夫婦岩線林道の開鑿記念碑

「夫婦岩線林道開鑿記念碑」高蔵寺への入口に、「開鑿記念 昭和四十三年五月吉日竣工 夫婦岩線林道 建設委員会」の石碑が建っています。裏面によれば、越生町森林組合が企画し総工事費1千万円をかけて、道路延長1.520m、幅員3.6mの道路が開通したと記録されています。山から木材を搬出する道として整備されましたが、現在はゴルフ場の敷地となり途切れています。

小川梅園道改築之碑
小川梅園道は、越生梅林か



小川梅園道改築之碑



越生小学校

9月10日、1年生が生活科の学習でむしとりをしました。あみとかごを持ちながら、友達と協力してバッタやコオロギをつかまえました。教室へ戻ってからは、タブレットパソコンで写真を取り、観察を楽しみました。

梅園小学校

10月5日、縦割り班でサツマイモの収穫を行いました。5月に植えたサツマイモの苗が大きく育ち、残暑が厳しい青空の下で土を掘りました。今年は、たくさんのサツマイモを収穫することができ、大きなものや変わった形のものが掘れると児童から歓声が上がりました。



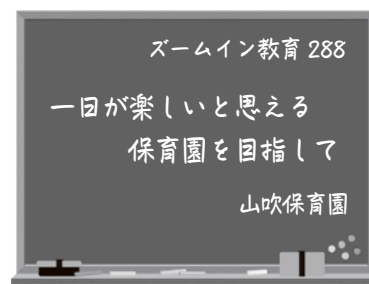
越生中学校

9月16日から保健体育の授業で「空手」の授業が始まりました。今年も体育協会の空手道部の皆さんが指導に来ていただいています。「形」の練習のなかでタブレットパソコン使って撮影し、自分の動作を確認しながら力強さができるように学習しています。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。



「おはようー」保育園の朝は、元気な挨拶から始まります。山吹保育園は一日が楽しいと思える保育園を目指し、三つの柱を立てています。

一つ目の柱は「自主的・主体的・創造的に生活する」です。大人は過干渉を避け、自分たちで考え、決定出来るよう援助します。

二つ目の柱は「異年齢でのつながりを通し思いやる力を育む」です。大きいお友達は進んで小さい子の面倒を見て、小さい子は大きいお友達から必要なことを自然と学びます。

三つ目の柱は「健康的な生活リズムの中で安定

した情緒を養う」です。思いっきり体を動かして、おいしい食事をとり、ゆっくり休むという大事なリズムを通して安定した情緒を養います。

